

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語聴覚療法技術論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 木曜3限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	工藤悠世、丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格	丸山:友愛会病院で言語聴覚士として勤務、成人(主に脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
対人援助職として必要とされる事柄を学び、臨床に必要なコミュニケーション能力や臨床態度を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①工藤: 教科書『対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帖』大谷佳子 翔泳社 2017						
②丸山:配布資料						
《授業外における学習方法》						
授業内で受けた講義やグループワークの内容について、教科書および資料を基に理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
この講義は臨床見学実習に向け、臨床で必要とされるコミュニケーション能力・臨床的態度について学びます。臨床実習時に活かせるよう、能動的に考え、学ぶ練習をしていきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝え上手になる技術を身につける①【工藤】	教科書	「次回までの課題」に取り組んでおく	
		各コマにおける授業予定	テキスト(伝える力チェックリスト、その他)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝え上手になる技術を身につける②【工藤】	教科書	「次回までの課題」に取り組んでおく	
		各コマにおける授業予定	適切な自己表現(アサーション)について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	共感上手になる技術を身につける①【工藤】	教科書	「次回までの課題」に取り組んでおく	
		各コマにおける授業予定	テキスト(共感する力チェックリスト、その他)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	共感上手になる技術を身につける②【工藤】	教科書	「次回までの課題」に取り組んでおく	
		各コマにおける授業予定	テキスト(肯定的な意味を見出すリフレーミング、その他)まとめ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分自身について理解し、対人援助者としての自己成長に必要な自身の課題を明確にできる【丸山】	配布資料	自分の性格や傾向について理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	対人援助者としての準備、自己理解について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	他者からみた自分について知り、自己理解をさらに深めることができる【丸山】	配布資料	授業内のワークを通して、人よりよく知り合うための方法を復習する。
		各コマにおける授業予定	他者理解と自分の態度について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床的態度、医療現場でのマナーについて理解し説明できる【丸山】	配布資料	臨床場面におけるマナーについて、資料を元に復習する。
		各コマにおける授業予定	臨床で求められる姿勢、マナーとしてのコミュニケーションについて		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	相手を知るための自由会話:よい聴き手・話し手になるための必要な方法を説明することができる(1)【丸山】	配布資料	授業で学んだ内容をまとめ、臨床見学実習に向けて自由会話の準備を行う。
		各コマにおける授業予定	臨床に必要なコミュニケーションについて		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	相手を知るための自由会話:よい聴き手・話し手になるための必要な方法を説明することができる(2)【丸山】	配布資料	授業で学んだ内容をまとめ、臨床見学実習に向けて自由会話の準備を行う。
		各コマにおける授業予定	臨床に必要なコミュニケーションについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	電話/手紙のマナーを説明することができる【丸山】	配布資料	電話や手紙のマナーに基づき、電話をかける/手紙を書く
		各コマにおける授業予定	電話のかけ方、ご挨拶状/お礼状の書き方について		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床場면을記述することができる【丸山】	配布資料	自分の作成したレポートを振り返り、「相手に伝わりやすい文章」について考える。
		各コマにおける授業予定	実習中のレポートの書き方について		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	見学実習に必要な時間管理/健康管理/書類の管理をすることができる。実習に向けた行動計画表を作成できる【丸山】	配布資料	見学実習に向けた行動計画表を作成する。
		各コマにおける授業予定	見学実習に向けた自己管理、出席表の管理、個人情報保護に関する誓約書について		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を実施することができる(1)【丸山】	各自、自由会話の準備物	フィードバックの内容を受けて、自由会話の流れを修正する。
		各コマにおける授業予定	臨床に必要なコミュニケーションについて		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を実施することができる(2)【丸山】	各自、自由会話の準備物	フィードバックの内容を受けて、自由会話の流れを修正する。
		各コマにおける授業予定	臨床に必要なコミュニケーションについて		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床見学実習を振り返り、次の臨床評価実習への目標・課題を見つけることができる【丸山】	配布のワークプリント	自分および他者が見学実習で得たことがらを理解し、今後の課題を整理する。
		各コマにおける授業予定	実習中に生じた問題点や達成できた点の振り返り		